



# モデルベース開発を支援 リアルタイムシミュレータ

◀ 6 ▶

パワーエレクトロニクス分野での開発支援を行うMywayプラスは、パワエレに特化したリアルタイムシミュレータ「Typhoon HIL」(Typhoon HIL)の普及に注力す

る。米ボストンに本社を構えるTyphoon HIL社のアジア地域販売代理店として17年に取り扱いを開始。中国、シンガポールでも展開する。

業界標準ソフト「MATLAB/Simulink」を習得せずに使えるのが特徴で、MATLABのバージョンアップに対応する必要がない。開発ツール部チーフエンジニアの杉山潤氏は「パワエレ制御設計のエンジニアが、一人で手軽にデバッグ(バグの発見)に活用できることを主眼に置いた製品」と話す。

汎用(はんよう)的傾向がある。THはツヨクなし、標準で対応できるのが強み(杉山氏)。

THは全4機種の数が増えるにつれ計算に時間を要する。THでは、ケーブルをつなげるだけで最大16台まで増設可能。主回路のエリアごとに計算を担わせるため、スピードを維持できる。パワコンデিশヨ

パワエレ専用HILS  
FPGAなしで超高速実現

パワエレ専用HILS「Typhoon HIL404」  
なやUPS(無停電電源装置)の開発現場で活用され、海外のエリアケース再現の際、周波数や電圧も違う現地の電力事情の模擬に使われているという。  
現在、ウェビナーなどを通じて電力変換やモーター制御分野でのHILSの周知に努める。大容量テストでは電気代やチャンバなどの費用がHILS購入費に匹敵する場合もある。「対投資効果を訴え、導入のメリットを伝えていきたい」と意気込む。

(つづく)

なHILSの場合、Mランク速度は6・7ナ秒「402」、電力会社のATLABのような回路エディタやFPGAなど複数のツールを組み合わせて環境を構築するため、コンパイルの乱れを精緻に再現する時間がかかる。このスピードをFPGAのオブジェクトである大電流や大電圧を制御す

る。米ボストンに本社を構えるTyphoon HIL社のアジア地域販売代理店として17年に取り扱いを開始。中国、シンガポールでも展開する。

業界標準ソフト「MATLAB/Simulink」を習得せずに使えるのが特徴で、MATLABのバージョンアップに対応する必要がない。開発ツール部チーフエンジニアの杉山潤氏は「パワエレ制御設計のエンジニアが、一人で手軽にデバッグ(バグの発見)に活用できることを主眼に置いた製品」と話す。

汎用(はんよう)的傾向がある。THはツヨクなし、標準で対応できるのが強み(杉山氏)。

THは全4機種の数が増えるにつれ計算に時間を要する。THでは、ケーブルをつなげるだけで最大16台まで増設可能。主回路のエリアごとに計算を担わせるため、スピードを維持できる。パワコンデিশヨ

パワエレ専用HILS  
FPGAなしで超高速実現

(つづく)

## Mywayプラス

## パワエレ専用HILS

## FPGAなしで超高速実現

